

大会の開催日程

リハーサル大会 平成27年 6月 6日(土)～ 7日(日)
 本大会 平成27年10月24日(土)～26日(月)

10/22 (木)	10/23 (金)	10/24 (土)	10/25 (日)	10/26 (月)	10/27 (火)
選手団来県	選手団来県 監督会議 全国代表者会議 公式練習会	開会式 競技	競技	競技 閉会式	選手団離県
		オープン競技			

大会の参加者数

参加者数 約 5,500人 (47都道府県・20指定都市選手団)

<内訳> 選手 約 3,500人
 役員 約 2,000人

大会の基本方針

第15回全国障害者スポーツ大会は、全国に和歌山県の魅力を強くアピールし、「空青し 山青し 海青し」と謳われる自然あふれる『紀の国わかやま』で出会い、共に楽しめることを喜び、障害のある人もない人も参加者みんなで一体となって創りあげ、互いの絆を深める大会を目指し、次の3つを基本方針とします。

1 可能性へのチャレンジ！

この大会を通して、自分自身の可能性にチャレンジし、その生き活きたとした姿が多くの人々に力と感動を与え、全ての人に何事にもチャレンジしていく勇氣を育む大会とします。



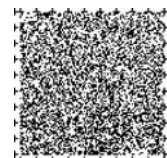
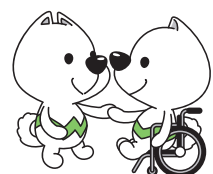
2 心温まる『紀の国わかやま』へ

みんなが笑顔で元気に参加できる大会、いつまでも心に残る大会を目指し、『紀の国わかやま』が、まごころをもって温かくお迎えします。



3 支えあう未来へ

障害のある人もない人も、この大会を通して、共に支えあい、みんなが安心して暮らせる社会の実現を目指す大会とします。



みんなで県民運動を盛り上げよう！（県民運動3つの基本目標）

紀の国わかやま国体・紀の国わかやま大会の開催に向け、県民の皆さんが気軽に参加できる花いっぱい運動やクリーンアップ運動など、たくさんの県民運動に取り組んでいます。県民運動に参加いただき、皆さんのアイデアとエネルギーで、いつまでも心に残るまごころのこもった大会にしましょう。

1 みんなの国体・大会

県民のアイデアとエネルギーを活かし、県民全員が参加するみんなの国体・大会にしよう

- 県民総参加
- ボランティア
- 募金、企業協賛
- 花いっぱい運動
- クリーンアップ運動



2 躍動する国体・大会

スポーツとの様々な関わりを通じて、心豊かでたくましい人と活力に満ちた地域をはぐくむことで、人と地域が躍動する国体・大会にしよう

- スポーツ・レクリエーション
- 健康・体力づくり



3 ぬくもりのある国体・大会

来県者をおもてなしの心で迎え、和歌山の魅力を伝えることで、和歌山のぬくもりと感動がつまった国体・大会にしよう

- おもてなし運動
- 魅力発信



ボランティア

紀の国わかやま大会の開・閉会式会場や各競技会場で、大会参加者を温かくもてなす大会運営ボランティアをはじめ、手話や要約筆記等の専門技能を持つ情報支援ボランティア、選手団と行動を共にする選手団サポートボランティアなど多様なボランティアを計画的に養成します。

大会運営ボランティア (3500人)



平成25年9月3日(火)～
募集開始！

運営ボランティア

2003(平成15)年4月1日以前に生まれた方で大会期間中に活動が可能な方。ただし、中学生以下の応募については、保護者の同意が必要です。

情報支援ボランティア

1997(平成9)年4月1日以前に生まれた方で、次の要件を満たし、事前の研修会等への参加や大会期間中の活動が可能な方。

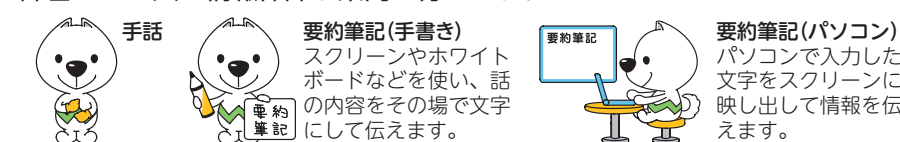
手話：日常会話ができる程度の手話能力のある方

要約筆記：要約筆記の経験者又は関心のあ(手書き)る方

要約筆記：要約筆記の経験者又は関心のあ(パソコン)る方。ただし、タッチタイピングが可能で、ノート型パソコンを持参することができる方

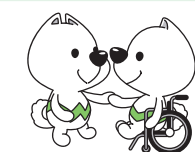
情報支援ボランティア (手話300人、手書き要約筆記200人、パソコン要約筆記100人)

手話や要約筆記により、選手・役員及び観客として全国から参加する聴覚障害のある人の情報保障や案内を行います。



選手団サポートボランティア (800人)

大会に参加する選手及び役員の介助・誘導等のサポートを行います。選手団サポートボランティアは、県内の医療・福祉系の学校にご協力をいただいて養成を行います。



紀の国わかやま国体・紀の国わかやま大会実行委員会事務局

〒640-8585 和歌山県和歌山市小松原通1-1 障害者スポーツ大会課
 TEL 073-441-2572 FAX 073-427-5388
 URL <http://www.wakayama2015.jp/>
 MAIL e0015001@pref.wakayama.lg.jp

紀の国わかやま大会

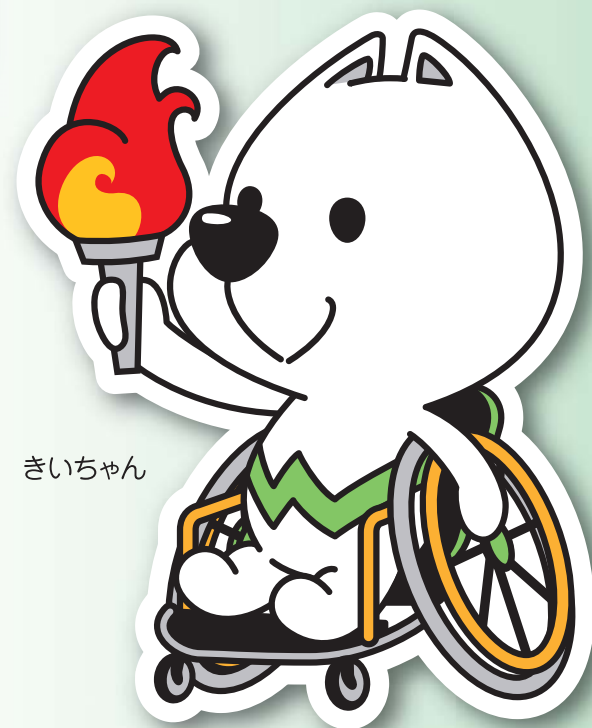


この印刷物は地球環境に優しい再生紙、植物油インキを使用しています。

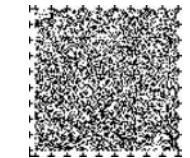
2015 紀の国 わかやま大会

第15回全国障害者スポーツ大会 躍動と歓喜、そして絆

2015年10月24日(土)～10月26日(月)



紀の国わかやま国体・紀の国わかやま大会実行委員会



大会の名称

第15回全国障害者スポーツ大会

全国障害者スポーツ大会は、障害者が競技を通してスポーツの楽しさを体験するとともに、国民の障害に対する理解を深め、障害者の社会参加の推進に寄与することを目的とした障害者スポーツの祭典です。



大会のあゆみ

全国障害者スポーツ大会は、平成12年まで別々に開催されていた「全国身体障害者スポーツ大会」と「全国知的障害者スポーツ大会」を統合して、平成13年に第1回大会が宮城県で開催されました。毎年、国民体育大会終了後に開催されており、平成27年に和歌山で開催される大会が第15回大会となります。

大会の愛称

2015 紀の国 わがやま大会

「紀の国」は、万葉の時代より和歌山を表す言葉として使われ、今も県民に親しまれ、さまざまな面で使われている言葉です。

第15回全国障害者スポーツ大会が和歌山県で開催されることを明確に示す「わかやま大会」に「紀の国」を付けた愛称が県民に親しまれるとともに、「紀の国」を全国に発信します。

大会のスローガン（国体と共通）

躍動と歓喜、そして絆

活力に満ちたふるさとづくりに寄与する大会の実現を通じ、和歌山の元気・活力・躍動感を全国にアピールするとともに、大会に参加するすべての人が躍動し、歓喜する。そこに交流が生まれ、絆が深まるような大会を目指します。

大会のマスコット（国体と共通）

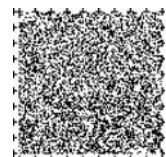


紀州犬をモチーフにした元気いっぱいのマスコット。体の緑色のマークは、和歌山の頭文字Wと豊かな緑を表現。生まれ育った和歌山の自然とスポーツが大好き。いろんなことにチャレンジして、たくさんの人と友だちになりたいと思っています。頑張る人を応援し、紀の国わかやま大会を盛り上げていきます。

大会のイメージソング（国体と共通）

明日へと 作詞／作曲 ウインズ平阪

大会のスローガン「躍動と歓喜、そして絆」をイメージした、スポーツ競技会にふさわしい、軽快でさわやかな曲調となっています。ダンスや手話バージョンも作成しています。



1 陸上競技

障害の特性に合わせた100m走、走り幅跳び、砲丸投げなどの一般的な種目と、障害者スポーツ大会特有の種目あわせて15種目が実施されます。



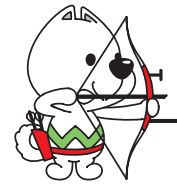
2 水泳

障害に応じて、水中からのスタートや浮具使用が認められており、自由形、平泳ぎ、背泳ぎ、バタフライが実施されます。



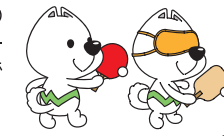
3 アーチェリー

弓の違いにより、「リカーブ部門」「コンパウンド部門」があり、それぞれ50mと30m離れた標的を射て得点を競います。



4 卓球（サウンドテーブルテニス含む）

一般の卓球とサウンドテーブルテニスがあり、サウンドテーブルテニスとは、視覚障害のある選手による競技で、金属球が入ったボールを転がし、その音を頼りにラバーのないラケットで打ち合います。



5 フライングディスク

樹脂製のディスク（円盤）を投げ、円形の標的の内側を通過した枚数を競う「アキュラシー」と飛行距離を競う「ディスタンス」の2種目が実施されます。



2015 紀の国 わがやま大会

第15回全国障害者スポーツ大会

躍動と歓喜、そして絆

実施競技紹介＆開催地マップ

岩出市
6 ボウリング（知）
紀の川ボウル
5 バレーボール（身）
岩出市立市民総合体育館

和歌山市
1 陸上競技（身・知）
紀三井寺公園陸上競技場
2 水泳（身・知）
秋葉山公園県民水泳場
4 卓球（身・知）
[サウンドテーブルテニス（身）を含む]
武道・体育センター
和歌山ビッグウエーブ
2 車椅子バスケットボール（身）
和歌山ビッグホエール
1 車いすテニス（身）
つつじが丘テニスコート（仮称）
2 卓球バレー（身・知・精）
和歌山県立体育館

海南市
5 バレーボール（知）
海南市総合体育館

田辺市
1 バスケットボール（知）
（新）南紀スポーツセンター体育館
5 バレーボール（精）
田辺市体育センター

6 ボウリング

一般のルールと同じです。男女別に少年、青年、壮年の部に分かれて、4ゲームトータルのスコアで競います。



① バスケットボール

男女別にわかれ、ルールは一般のバスケットボールと同じで1ピリオドを10分間とし、合計4回（40分間）行います。



② 車椅子バスケットボール

車椅子を使用して行うバスケットボールで、ルールは一般のバスケットボールとほぼ同じで実施されます。



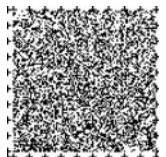
③ ソフトボール

男女問わず競技を行います。ルールは一般のソフトボールとほぼ同じですが、盗塁やスクイズ等は認められていません。



④ グランドソフトボール

視覚障害のある選手が行う競技で、一般のソフトボールのルールを基本としています。ボールはハンドボールを使用し、ボールが転がる音を頼りにバットで打ちます。



正式競技（個人） 6 競技

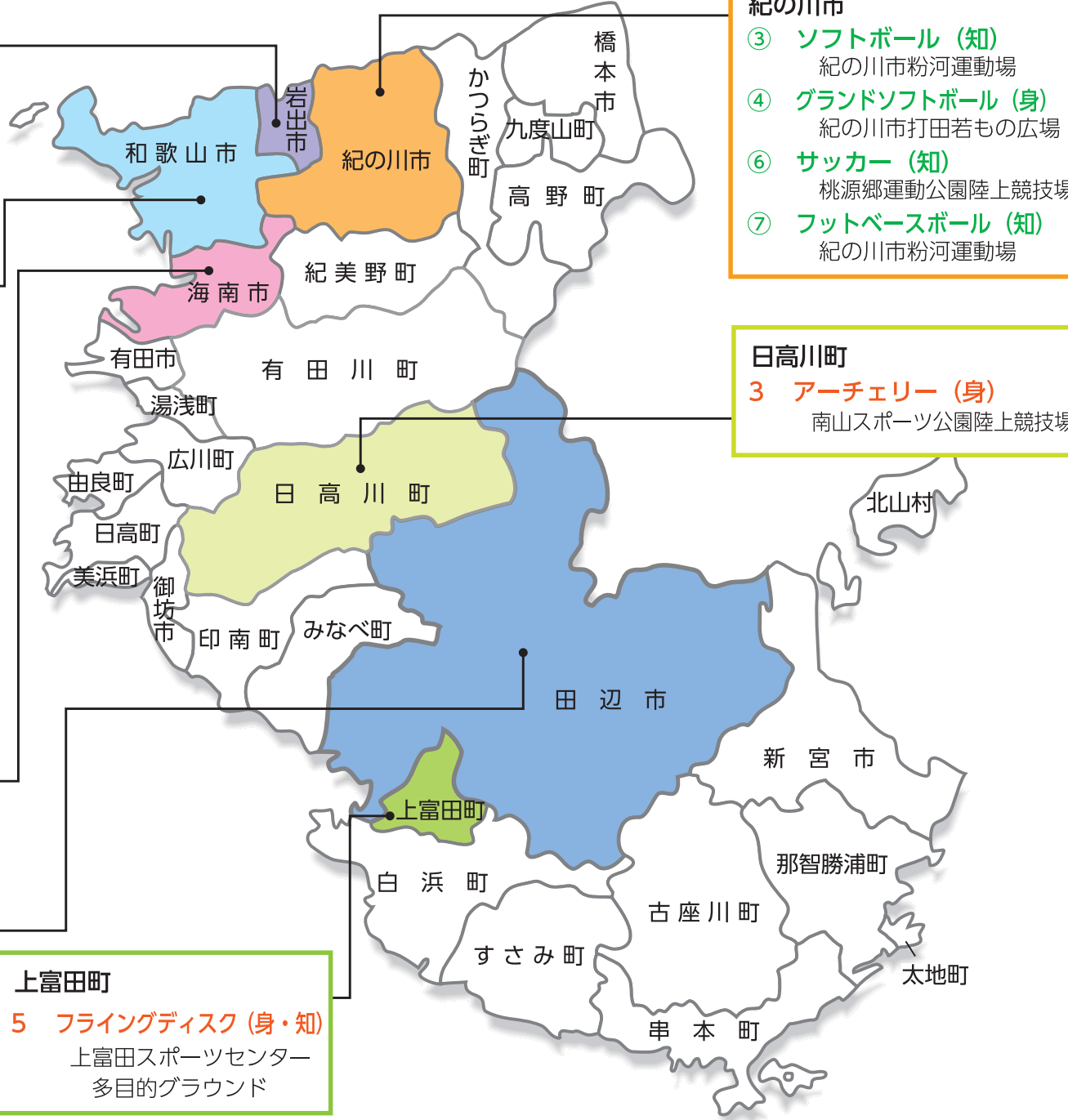
正式競技（団体） 7 競技

オープン競技 2 競技

身＝身体障害者が出場できる競技
知＝知的障害者が出場できる競技
精＝精神障害者が出場できる競技

紀の川市
③ ソフトボール（知）
紀の川市粉河運動場
④ グランドソフトボール（身）
紀の川市打田若もの広場
⑥ サッカー（知）
桃源郷運動公園陸上競技場
⑦ フットベースボール（知）
紀の川市粉河運動場

日高川町
3 アーチェリー（身）
南山スポーツ公園陸上競技場



2 卓球バレー

1チーム6人で卓球台を囲むように座り、長方形の木製のラケットを持ち、サウンドテーブルテニス用のピン球（中に鉛玉が入っている）を3打以内で相手コートに返す競技です。



1 車いすテニス

競技そのものは一般のテニスと同じで、車いすの選手のみ2バウンドルールが適用されます。シングルス、ダブルス、車いす選手と健常者選手がペアを組むニューミックスがあります。



⑦ フットベースボール

一般のソフトボールのルールを基本としていて、ゴム製のサッカーボールを使用します。ピッチャーが両手で転がしたボールをキッカーが蹴り、得点を競います。



⑥ サッカー

男女問わず競技を行います。一般のサッカーと同じルールで行い、ハーフタイム（10分間）をはさんで前後半各30分で実施されます。



⑤ バレーボール

聴覚障害者、知的障害者、精神障害者に分かれて行います。聴覚・知的障害者は男女別に行い、精神障害者は男女混合でソフトバレーボールを使用します。

